

令和3年12月1日発行

創刊号

# 川上校区社会福祉協議会だより

事務局：川上校区公民館内 tel 0952-62-5775

## 川上校区社会福祉協議会発足に向けて



川上校区社会福祉協議会  
会長 松崎逸夫

川上校区社会福祉協議会の発足にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私たち一人ひとりにとって、基本的な生活の場は家庭であり、地域であります。私たちはいつまでも安心して地域で暮らし続けることが願いであります。川上校区でも過疎化、少子高齢化が進み、生活の基盤が脅かされています。

地域福祉を考えると、多様化したニーズに対応するために、地域福祉を推進する組織として、川上校区社会福祉協議会を設立したところです。

今日、いつの時代でも、特に地域に根差した取り組みが課題となっています。子どもや高齢者への日ごらの見守り、災害時の安否確認、避難行動要支援など、福祉協力員の重要性も高まっています。

誰もが地域社会の一員として参加できる福祉活動を展開し、高齢者の生きがいをづくり、子どもの健全育成、見守り活動など、お互いが生活弱者への心くばりが必要であります。行政や専門機関と共に、多くの地域団体の協力をいただきながら地域色のある福祉活動を展開していきたいと思っております。

今後とも皆様方のご理解とご協力を切にお願いし、挨拶とさせていただきます。



## 祝 辞

川上校区自治会  
会長 辻 日出生

この度の川上校区社会福祉協議会の発足、誠にありがとうございます。

昨年12月頃に佐賀市社会福祉協議会大和支所の廃止の方向と連絡があり、川上校区自治会も大変心配をしておりましたが、いち早く、校区社会福祉協議会発足に向けた取り組みをいただいたことに感謝申し上げます。

川上校区内におきましても、高齢化が進む中、地域福祉事業が身近になることで自治会長会としても心強く感じています。

住みよいまちづくりのために、地域が一体となって取り組んでいくことを切望し、お祝いの挨拶とさせていただきます。

## 祝 辞

川上校区まちづくり協議会  
会長 副島 義和

今日、社会福祉が大きく変化していく中で地域共生社会の実現に向けた取り組みが求められています。地域福祉活動は、まちづくり協議会、NPO法人、多様な団体等が主体とした校区社会福祉協議会の活動が重要です。

川上校区まちづくり協議会も、川上校区社会福祉協議会の活動の目的は同じ目線であり、表裏一体でありますので、全面的に支援をしていきます。今後の活動を祈念してお祝い申し上げます。



# 川上校区社会福祉協議会設立総会

令和2年12月に設立準備委員会を立ち上げ、全体会議を3回実施し、趣旨説明、役員選出、規約づくり、事業計画、予算作成など幅広く協議を重ねてまいりました。

皆様の協力で、令和3年3月2日川上校区公民館において、設立総会を迎えることができ、佐賀市保健福祉部、佐賀市社会福祉協議会から祝辞を賜りました。

総会においては、規約、事業計画、予算、役員などが全会一致で承認されました。

## 【役員名簿】

役職名	氏名	所属団体	役職名	氏名	所属団体
会長	松崎 逸夫	まちづくり協議会	理事	石橋 久美子	自治会女性部
副会長	辻 日出生	自治会長会	〃	中臣 京子	自治会女性部
〃	副島 義和	まちづくり協議会	〃	八田 墨	川上小学校 PTA
〃	山口 浩子	民生委員児童委員協議会	〃	池田 敏憲	身障連大和支部
理事	中尾 修一	自治会長会	〃	おたっしゃ本舗大和	地域包括支援センター
〃	西岡 靖介	自治会長会	〃	シオンの園	社会福祉法人
〃	森永 健吉	まちづくり協議会	監事	古川 正忠	
〃	横尾 信雄	まちづくり協議会	〃	古賀 澄男	
〃	北島 三十三	民生委員児童委員協議会	事務局長	永利 洋	自治会事務局
〃	吉田 誠司	民生委員児童委員協議会	顧問	千住一成	公民館
〃	田代 和人	老人クラブ連合会			

## 【事業計画】

月	活動内容
5月	令和2年度会計監査、令和3年度定期総会
6月	福祉協力員説明会・研修会
9月	地域応援研修会
	福祉協力員研修会
10月	赤い羽根共同募金街頭募金活動
	法人募金活動
	校区自主防災図上訓練
11月	佐賀市校区社協役員視察研修
12月	高齢者ふれあい会食会
2月	佐賀市校区社協役員研修会
定例会	第17回佐賀市社会福祉大会 佐賀市校区社協会長会（6月、8月、10月、12月、3月） 理事会（4月、10月）

## 【令和3年度収支予算】

収	項目	予算額	支	項目	予算額
	入	会費		80,000円	出
	助成金	611,000円		助成金	611,000円
	雑収入	0円		雑収入	0円
	合計	691,000円		合計	691,000円



## ご存じですが？ 私たちのまちの福祉協力員

佐賀市社会福祉協議会では地域で見守る体制づくりの強化として、福祉協力員の設置、推進をされていますが、川上校区においては、現在、75名が福祉協力員として活動されています。

子ども、障がいをお持ちの方、高齢者が安心して地域で暮らしつづけるために、地域の見守りには欠かせない、「福祉協力員」の活動支援を校区社会福祉協議会では積極的に取り組んでまいります。

福祉協力員研修の様子



## 自主防災の図上訓練を開催しました

校区自主防災会本部と共催で、川上校区自主防災会本部図上訓練を開催しました。コロナ禍でもあるため、密をさけるため、4日間に分けて実施しました。

各自主防災会長、自治会長、民生児童委員、福祉協力員など多数の方々や市福祉総務課、市社会福祉協議会、おたっしや本舗、シオンの園など福祉関係機関が出席し、自主防災の概要説明、現状と課題、災害時要避難者支援カードの作成などを行いました。

「何十年に一度の災害」が毎年のように訪れるようになり、防災に関する危機感が高まっています。今後も継続的に開催してまいりたいと思います。



# 川上校区の介護予防への取り組み（川上校区公民館で開催中）



## 【かわかみ・絆の会】からのお知らせ

発足から8年。住民による住民のための支え合い体制づくりが評価され、『佐賀さいこう表彰（自発の地域づくり部門）』を受賞することができました！

これからも地域ニーズに応じた移動支援、生活支援の取り組みを継続してまいりたいと思います。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



## 香典返しについて

香典返しをする代わりに、故人あるいはご遺族の遺志により、ご香典の一部を社会福祉のために役立てることができます。

全額を校区社会福祉協議会がお預かりして、地域福祉活動等の財源として、大切に活用させていただきます。

※御礼をかねて、定期発行の校区社会福祉協議会だよりへ掲載させていただきます（掲載意向の確認は取らせて頂きます。）

お問い合わせ先 事務局：川上校区公民館内 TEL 0952-62-5775